

研修・教育について

2022/10/14

株式会社ZTV

通信技術部

鈴木伸哉



内容

- 人材育成の必須項目、研修・教育をテーマにお話しします
- 様々な場面で様々なアプローチを試みてきた事例を紹介
- 人を相手にする以上、多種多様
- なかなか成果に結びつかない
- 反省点、改善点を見出すためにもふりかえてみたい
- 今後の手法・手段やアイデアの発見などにつなげたい

種類	集合研修 eラーニング ベンダー/メーカー説明 外部研修受講 ：
----	--

事例	Ping-t ISMS 勉強会 資格取得 ：
----	------------------------------------

Ping-t (2018年、2019年)

[Eラーニング+集合研修]

<https://ping-t.com/>
株式会社Ping-t様

- Eラーニングの場合、モチベーションの維持が必要

➡ 個々に任せていては成果に繋がらない

- 取りまとめを行い、チュートリアル、受講状況の共有により競争原理を取り入れてみた
(優秀者には褒賞)
- **受講管理システム**の活用
- 競争原理が働かない世代？

知見

それぞれ個性があり、取り組み方も様々であることが分かった

- こつこつタイプ (やる気がある)
- 追い込まれて進むタイプ (やる気があるが)
- ムラがあるタイプ (その気になれば)
- マイペース (天才型)

Ping-t内容

2018年

期間：6/20～9/6
対象：4名

1. オリエンテーション（6月20日、6月25日*）
進め方説明、目標設定
基礎講習：IOS説明*
2. 中間打合せ（8月14日、随時*）
NW勉強会（L2/L3）*
受講状況確認と共有（メール）
3. 結果確認（9月6日）

受講状況

(2018/8/31時点)

受講者一覧 個人ユーザ取り込み

絞り込み：[個人/専用] [所属] [目標資格]

	Ping-ユーザ名	受講者名	所属	最終ログイン	目標資格	区分	受験予定日	メダル	有効期限	操作
174回				2018-08-30 20:56	CCNA Routing and Switching (v3.0)	ICND2		🏅	2019-06-13	🔍 ✎
53回				2018-08-31 14:17	CCNA Routing and Switching (v3.0)	ICND2		🏅	2019-06-13	🔍 ✎
52回				2018-08-14 18:24	CCNA Routing and Switching (v3.0)	ICND2		🏅	2019-06-13	🔍 ✎
10回				2018-08-31 23:27	CCNA Routing and Switching (v3.0)	ICND2			2019-06-13	🔍 ✎
25回				2018-08-31 19:31	CCNP SWITCH(300-115)			🏅🏅🏅	2019-06-13	🔍 ✎
174回 (-17)				2018-09-04 00:48	CCNA Routing and Switching (v3.0)	ICND2		🏅🏅🏅	expired	🔍 ✎

・表示されていませんが、全員銅メダル1個以上獲得できました
・回数、内容ともに〇〇さんを最優秀Ping-t受講者とします

←鈴木

2019年

期間：7/10～9/19
対象：2名

1. オリエンテーション（7月10日）
進め方説明、目標設定
2. 中間確認（8月5日、8月29日）
受講状況確認と共有（メール）
3. 結果確認（9月19日）

受講状況

(2019/9/19時点)

受講者一覧 個人ユーザ取り込み

1ページ目 <前へ|次へ> 1件から3件(全3件)

絞り込み：[個人/専用] [2019年6月] [目標資格]

	Ping-ユーザ名	受講者名	所属	最終ログイン	目標資格	区分	受験予定日	メダル	有効期限	操作
13回				2019-07-16 09:40	CCNA Routing and Switching (v3.0)	ICND2			2020-06-29	🔍 ✎
76回				2019-09-10 11:13	CCNA Routing and Switching (v3.0)	ICND2		🏅	2020-06-29	🔍 ✎
(80回)				2019-09-10 07:02	CCNA Routing and Switching (v3.0)	ICND2		🏅	2020-06-29	🔍 ✎

1ページ目 <前へ|次へ> 1件から3件(全3件)

© Ping-t Co.Ltd 2011

・銅メダル獲得者が出ました
・回数、内容ともに〇〇さんを最優秀Ping-t受講者とします

←鈴木

ISMS（担当2014年～）

[資料配布、自習]

- 年1回、教育訓練を実施している
- 基本は自習（資料を読み、チェックテストに回答）

気を付けている点

1. 業務影響を避け、協力をお願いする姿勢
2. 個々におけるセキュリティ意識の向上

- 年々、歩み寄りを進めている

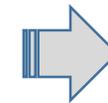
取り組み例

動画を紹介して興味を持ってもらう



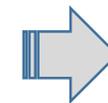
ちょうどよい動画が見つからない

身近な事例の紹介



社内で実例あっても困るし取り上げにくい

採点結果をまとめて、各問の正答率、不正解例をフィードバック



役立っていると思いたい。。

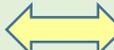
限界を感じている（アプローチの仕方を検討したい）

ISMS（工夫の履歴）

- 2017年 チェックテスト結果を分析しフィードバック
- 2018年 説明資料のテスト関連個所に色塗り（回答のヒントに）
- 2019年 サプライチェーン説明（身近な例として）
- 2020年 セキュリティ関連の公開動画を紹介、社内の事例を取り上げ
- 2021年 業務内容直結事例を取り上げ（事前に周知した内容）
- 2022年 思案中

工夫はしているものの、同じ内容のアップデートが続いておりマンネリ化？

（自分の中では）快作の年があったものの、自己満足？

業務影響を少なく  セキュリティ意識向上
のハザマで葛藤を続けているが
本来の目的を達成したい

勉強会（2007年～、2014年～） [集合研修]

- 講師持ち回りにより自身の仕事整理、他者視点の指摘、他人の仕事把握などメリットがある
- OJTにしても、バックグラウンドの知識を持っておくことでより理解が深まる
- ベンダー様のご協力もあり、半分程度は分担できた

形式ばった企画・進行は定着しなかった
強制力無く、追加業務と捉えられる
のが敗因か

集合研修に捉われず
様々な形態を模索

回	実施月	テーマ	講師
1	2007年 2月	C4操作方法/有テレ1級	鈴木/A
2		ケーブルモデムの動作について	鈴木
3	2007年 4月	IP電話のトラブルシューティング	鈴木
4	2007年 4月	TV系	B
5	2007年 5月	ログ全般	鈴木
6	2008年 2月	ログ、ワイドバンド、障害説明	鈴木
7	2008年 8月	システム連携	鈴木
8	2010年 1月	TLS	C
9	2010年 2月	UNIX	SIer
10	2010年 3月	UNIX補足	鈴木
11	2010年 4月	サーバ冗長	鈴木
12	2010年 7月	メールログの見方	C
13	2010年 7月	イレギュラー案件について	鈴木
14	2010年 7月	テスト	A
15	2010年12月	サーバ障害訓練（予備知識編）	鈴木
16	2011年 4月	サポートデスク対応	C
	2012年 6月	ネットワーク障害対応（入門編）	A
17	2012年 6月	Linux	C
18	2014年 6月	Z-LANサービスの基礎	鈴木
19	2015年12月	監視システム	鈴木
20	2016年 2月	業務補助アプリケーションの紹介	D
21	2016年 5月	コールセンター	E

22	2016年 5月	セキュリティ強化内容	鈴木
23	2016年 8月	DNS再勉強	D
24	2016年 9月	法人勉強会	F
25	2016年12月	セキュリティ対策機器	SIer
26	2017年 7月	ログサーバの構成と運用	鈴木
27	2017年 8月	ログサーバについて	鈴木
28	2017年 8月	再・DNS再勉強	D
29	2017年12月	FW機器	D
30	2018年 5月	サーバ、メール配送経路	SIer
31	2018年 8月	DCIM/PMP	鈴木
32	2018年 9月	ネットワーク	SIer
33	2018年10月	伝送機器	SIer
34	2018年11月	監視スクリプト・サーバ構成説明	鈴木
35	2018年12月	監視スクリプト2・配線作法	鈴木
36	2019年 1月	フローコレクタ機器の使い方と一例	SIer
37	2019年 4月	DNS・監視対応方法について	鈴木
38	2019年 4月	仮想基盤	SIer
39	2019年 6月	仕事の取組み、姿勢について	A
40	2019年 8月	仮想基盤・メール配信	鈴木
41	2019年10月	環境監視、メール配信	鈴木
42	2019年11月	トラップ監視、引継ぎについて	鈴木

その他

- 研修の報告（情報共有）も工夫したい
- タイミングも大事
若手のうちに
- 引継ぎも研修の一種
- CUIとGUI
CUIの操作がどうしても定着しない
能率の差に気づかせるにはどうしたらいいか
CUIを避けてしまう原因はコマンドの記憶ができるか否かなのか
- 研修計画を立案し、結局自分で行く
- 資格取得事情

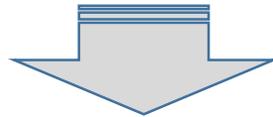
長年の謎で、解明できておりません

?

まとめ

- Eラーニングを活用した取り組みの事例
- セキュリティ意識向上を目的とした教育訓練の事例
- 長年取り組んできたものの、進化していない印象

情報交換の機会が無く、内面の進歩が滞っているのが一因と思われます



- 皆様の取り組みを参考にさせていただければ幸いです
- 各種ツールの活用なども検討し今後も研修教育に取り組みたいと考えています

おわり

ご清聴ありがとうございました。